４か月目の取り組みの一つ　２０１９

鹿児島県を中心に、九州地方の記録的豪雨により被害を受けられた方々に、心からお見舞い申し上げます。

４月に着任をして「あいさつ」と「いじめをしない、させない、許さない」ということを２つの柱にしながら進めてまいりました。あいさつについては、正門・西門・裏門に日替わりで立つ朝の見守り活動や子どもたちによるあいさつロード等、具体的な活動を通して行ってきました。先日地域の方から、「あいさつをしてくれてうれしかった」というお言葉をいただき、子どもたちの地域でのがんばりも知ることができました。これからも進めてまいります。

いじめについての取り組みとしては、先週の朝会で、いじめの４つの立場「いじめを受けている人」「いじめをしているひと」「いじめを広めたり大きくしたりする人」「いじめを見て見ぬふりをする人」を、お芝居を通して伝え、「いじめを受けている人」を守れる人になってほしいという話をしました。また現在校長、副校長で「たいせつなこと」について、下の話を用いながら各教室を回らせてもらっています。低学年には少し難しいかもしれませんが、それでもたいせつなことは「命が大切」「カエルさんにとっては大きな岩なんだ」「相手のことを考えること」などの意見も出てきました。

今後も具体的な取り組みを続けていき、子どもたちが安心して通える学校づくりを進めていきます。

小さな男の子が
池の近くで一匹のカエルをみつけました
小さな男の子は　小さな小さな小石を拾って
カエルに向かって
投げようとしました
するとかえるは言いました
あなたにとっては　小さな小さな小石でも
わたしにとっては　大きな大きな岩と同じなのです
あなたにとっては　ほんの遊びのつもりでも
わたしにとっては　命にかかわる問題です
小さな男の子は
手にとったその小さな小さな小石をおいて
カエルに向かって言いました
ごめんなさいカエルさん
そして大切なことを教えてくれてありがとう
小さな男の子も
カエルも
少しあたたかい気持ちになって
家に帰りました